

# グローバル・ビジネス・モデル論

特別教育研究コース（IRマネジメント）履修者のみ

担当者 安室 憲一

開講時期 前期

単 位 2

## ●講義の概要

IRマネジメントは、まったく新しい研究領域であり、グローバルなIRビジネスモデルもまだ十分には研究がされていません。この講義では、第4回目以降は、英語の文献を使って講義します（講義は日本語）。海外研修に慣れておくためのリーディング・アサイメント（宿題）ですので、必ず学習しておいて下さい。授業では発言を歓迎します。受講生の創意工夫や参加によるディスカッションを通じて、「IRのビジネスモデル」を探究したいと考えています。

## ●講義の到達目標

日本でカジノを含むIRを実現する場合、どのようなビジネスモデルが望ましいか、収益性と公益性の双方から、グランド・デザインを描ける能力を身に着けること。自分の価値観にしたがって、「是・否」を判断する基準を確立すること。

## ●講義計画

- 第1回：ビジネスモデルとは何か、なぜ「モデル」として考えることが役立つのか。
- 第2回：ビジネスモデルのデザイン・ルール：4つのモジュールとその組み合わせ
- 第3回：収益性の実現と課金システム：顧客は誰か、どんな顧客価値を提供するのか？
- 第4回：IRの各種モジュールの研究①演劇：事例シルク・ドゥ・ソレイユ
- 第5回：ミュージックとエンターテインメント
- 第6回：ミュージアム
- 第7回：テーマパーク
- 第8回：スポーツ
- 第9回：ツーリズム
- 第10回：ショッピング
- 第11回：ギャンブルとカジノ
- 第12回：イベント・プランニング
- 第13回：各国のIRの新動向：健全娯楽の発展方向（マカオを事例として）
- 第14回：IRのビジネスモデルのデザイン学
- 第15回：まとめと討論：日本でIRビジネスモデルをデザインする条件とは？

## ●成績評価基準と方法

講義に出席し、積極的に発言する。求められたレポートは期日までに提出する。試験の代わりにテーマを決めてレポートの提出を求める。

成績評価の方法：レポート80%、授業への参加度20%

## ●テキスト又は参考文献

テキスト：A. Stein & B.B.Evams, An Introduction to the Entertainment Industry, PentonLang. 2009.の主要な章を講義の対象にします。

参考文献：安室憲一・ビジネスモデル研究会編著『ケースブック ビジネスモデル・シンキング』文真堂、2007年

必要な資料は、その都度、印刷してお渡します。また、参考文献はその都度、紹介します。

## ●受講上の留意点

グローバル・ビジネス・モデルに関する幅広い議論は、大学院の修士課程の講義で行いますので、とくに興味のある方は、東大阪キャンパスにお越しください。事前に参考資料または事例に関する印刷物をお渡しますので、講義に出席する前に予習して来てください。

講義は、30分程度にとどめ、受講生との討論や質疑応答に時間を使いたいと思いますので、ご協力ください。

※特別教育研究コース（IRマネジメント）履修者向けの授業です。一般の院生は受講できません。